



マグニ 567

マグニ567は、完全クロムフリー高耐食性コーティングシステムで、亜鉛を主成分とする無機系樹脂のベースコート2層と、アルミを主成分とした有機系エポキシ樹脂のトップコート1層からなる3層複合皮膜構造で、塩水噴霧試験1,500時間以上の防錆力があります。

マグニ567は、ベースコートに含まれる亜鉛の犠牲防食作用(鉄よりもイオン化傾向の速い亜鉛が先に陽極化し、鉄が腐食するのを電氣的に食い止める)により鉄素地の腐食を防止します。さらにトップコートは不動態皮膜を形成したバリア効果により、ベース皮膜の表面や間隙部を覆い、外部からの錆生成因子(水、酸素)の侵入を防ぐことで、亜鉛の白錆発生を食い止めることができます。

マグニ567は、耐食性の要求が厳しい屋外で使用されるファスナー類や鉄製品用に開発され、水素脆性の心配がないこと、異種金属との電触の心配がないこと、様々なカラーバリエーションが可能なことなどから、あらゆる産業分野に採用されています。処理加工はディップ/スピン、ディップ/ドレイン、スプレーのいずれの方法も可能です。

性能データ:

塩水噴霧試験
ASTM B117 1500 時間

循環腐食耐性
CCT-I 日産 80 サイクル
CCT-A トヨタ 30 サイクル

摩擦係数
NES D3002±0.2により摩擦係数テストを実施

マグニ 567	0.13
マグニ 567 E	0.10
マグニ 567 J	0.28
マグニ 567 R	0.16
マグニ 567 T	0.20

典型的なコーティングの膜厚 12ミクロン

仕様:

Toyota トヨタ の要求事項に適合 TSH 7702G

